

シニア演劇ネットワーク

通信

第4号

2013年
わくわく春号

発行・NPO法人シニア演劇ネットワーク

〒160-0001 東京都新宿区片町1-1 パレ・クリスタル 401 電話：070-6521-8100 (都)

開催せまる!

全国シニア演劇大会 in 南アルプス 6月5日(木)～10日(月)

日本全国、だんだんと春の暖かさが増してきています。全国シニア演劇大会 in 南アルプス、約1年半の準備期間を経て、いよいよ開幕です!

チケット購入方法 チケットお申し込み方法

① X・jam 制作部 お名前、ご住所、お電話番号、ご観劇なさる劇団名と演目、枚数をご連絡ください。
電話 042-978-6976 平日11時～18時
FAX 042-978-6984 (24時間自動受信)

メール ticket@xymox-jam.com
事前にチケット郵送をご希望の方は、5月24日までに下記まで代金をお振込ください。
(送料、振込手数料はお客様のご負担となります。)
振込先 ゆうちょ銀行
記号10130
番号11855381
他金融機関から
店名〇一八(ゼロイチハチ)
口座番号1185538
特定非営利活動法人シニア演劇ネットワーク

全15劇団一挙に魅せます!
南アルプス桃源座旗揚げ公演(5日&10日)
チケットの半券を集めて
地方特産品をもらおう!
5枚で1つプレゼント!

2013年6月5日(水)～10日(月)
南アルプス市榎形生涯学習センター内 あやめホール

1 公演スケジュール

6/5	16:30 開会式	17:00 かんじゆく座 (東京) 「つんどく爺さん」	19:00 南アルプス桃源座 (山梨) 「夢老い、夢追い」 旗揚げ公演!
6/6	18:00 大正浪漫一座 (三重) 「原田二郎物語～松坂の生んだ知られざる偉人～」	20:00 まんざら (宮城) 「つれづれ叛乱物語～老人の叛乱～」	
6/7	16:00 雨の嵐 (宮城) 「気ままな自由人～気ままな自由人～」	18:00 MAロッキーズ (東京) 「わが町」	
6/8	14:00 かぶつ (東京・八丈島) 「不思議なきのこ」	16:00 川西町フレンドリープラザ (山形) 「風渡る頃」	
6/9	14:00 らくらく演劇塾 (奈良) 「水の手紙～群読のために～」	16:00 パパーズ (福井) 「三途の川の爺さん」	
6/10	15:00 Agグループ (石川) 「遥かなる ゆくとしくるとし」	17:00 劇団笑劇 (青森) 「嫁姑今昔物語」	

タイムスケジュール

5日(水)	16:30 開会式 17:00 かんじゆく座 (東京) 「つんどく爺さん」 19:00 南アルプス桃源座 (山梨) 「夢老い、夢追い」 旗揚げ公演! 終演後 交流会 (劇場ロビーにて)
6日(木)	16:00 アトリエ劇研シニア劇団水組 (京都) 「火の玉の降る村」 18:00 大正浪漫一座 (三重) 「原田二郎物語～松坂の生んだ知られざる偉人～」 20:00 まんざら (宮城) 「つれづれ叛乱物語～老人の叛乱～」
7日(金)	16:00 南の風 (北海道) 「気ままな自由人～気楽な里の住人たち～」 18:00 MAロッキーズ (東京) 「わが町」
8日(土)	14:00 かぶつ (東京・八丈島) 「不思議なきのこ」 16:00 川西町フレンドリープラザ (山形) 「風渡る頃」 18:00 のべおか笑劇座 (宮崎) 「ひよっとこどっこい」
9日(日)	14:00 らくらく演劇塾 (奈良) 「水の手紙～群読のために～」 16:00 パパーズ (福井) 「三途の川の爺さん」 18:00 石見国くにびき18座 (島根) 群読劇 「花・いっぱい」 終演後 交流会 (劇場ロビーにて)
10日(月)	15:00 Agグループ (石川) 「遥かなる ゆくとしくるとし」 17:00 劇団笑劇 (青森) 「嫁姑今昔物語」 19:00 南アルプス桃源座 (山梨) 「夢老い、夢追い」 千秋楽! 終演後 閉会式

開場は開演の30分前です。

全国シニア演劇大会 2011 の DVD 好評発売中!

『シニアの花道』

参加した16劇団の舞台裏や、団員インタビュー、交流会の様相まで追いかけた、記録DVD。
1枚1,500円です。みられなかった劇団の作品をみたり、武勇伝を語るときの証拠品として、ぜひ、お手元に1本!

お申し込み方法: FAXで、03-6908-6117まで。お名前、ご住所、お電話番号、本数、「全国大会DVD購入」と明記してください。

- ② 南アルプス市内でのご購入
- 南アルプス市役所 055-282-1111
桃源文化会館 055-284-3411
コラーニー文化ホール 055-228-9131
東京エレクトロン葦崎文化ホール 055-120-1155
富士川町ますほ文化ホール 0556-2218811
山交友の会 (山交4F) 055-232-8166
岡島友の会 (岡島3F) 055-231-0619

この大会にたくさんの方の企業、個人の皆さまから協賛をいただいています。心より御礼申し上げます。

(株) サニカ / 巨摩野農協 / 南アルプス市商工会 / デイサービスふあいと / (財) 桃源文化振興協会 / さすなか中込農園 / (株) 清月 / (株) / ケルンコーヒー / FM八ヶ岳 / 継フロントライン株式会社 / (株) 伊東豊雄建築設計事務所 / (株) 東北企画 / (財) 原田積善会 / (株) 三宝商会 / 武藤歯科診療室 / (株) 菓匠三全 / 有限会社喜多技研 / しちだ・教育研究所 / 浜田市水産物ブランド化戦略会議 / 浜田市石見神楽社中連絡協議会 / 発起塾 / 南の風応援団 / 劇団かぶつ / 劇団パパーズ / MAロッキーズ

どきどき・わくわく 参加劇団直前レポート!

参加劇団の皆さんは、稽古に熱が入ってきています! さあ、今年はどうなお芝居を見ることができのでしょうか。近況報告してくださったいくつかの劇団の皆さんの声をレポートします!

まず、大会のトップバッターで上演する、東京の**かんじゆく座**。旗揚げメンバーの小松愛子さんと、新人の**番藤松五郎**さんに、稽古場の様子を聞いてみました。

Q..今、稽古場はどんな雰囲気ですか?

A..(愛子) ちょうど今日は衣装合わせというところもあって、いよいよ盛り上がりつつあるという感じですね。自主トレも稽古場の隅で積極的にみられ座員同士で、ああのこうのと、賑やかに楽しく進んでいます。

Q..見どころは?

A..(愛子) すでにあの世の作家たちが現世に現れ、ちょっと生臭い(?) 文学おしゃべりをします。徘徊もしています。想像が膨らんでワクワクすること受けあいですよ!

Q..稽古で苦心している点は?

A..(番松) 演じていることを忘れるくらい役に没入してほかの訳と交流したいと思うのですが、なかなか…。リアルにと思えば、それが演技臭くなり大変です。所詮自分は自分でしかないのです、その役の状況にあればどうするかを考えるようにしています。

Q..大会期間中、見たい劇団は?

A..(番松) 初演の「南アルプス桃源座」。(愛子) それから最高齢、平均年齢上位の「ババース」。

今後ますます頑張つて!と、私たちの目標になります。

同じく東京から**MAロッキーズ**さん、初参加です。牛乳屋・三太郎を演じる**森口一彦**さんは、現役で働きのながらも、毎回、稽古に走ってくるそうです。

Q..「わが町」の見どころは?

A..音楽劇です。新進作曲家・ピアニストの菅谷氏に「わが町」の美しいオリジナル曲を作っていただきました。彼の生伴奏で、私たちが歌の心をお届けします。セリフと音楽の融合もお楽しみに。

Q..稽古で苦心している点は?

A..小道具、大道具がない「無対象」という演技の中から、朝食の味噌汁の具、おはぎ、牛乳運搬の馬などが見えてくるか奮闘中です。

Q..見たい劇団は?

A..もちろん、南アルプス桃源座。地元の方々のフレッシュでパワフルな舞台に期待しています。

こちら、今回初参加、宮城県仙台市の劇団「**まんざら**」さん。いま、週に3回の稽古(1回3時間)で、5月3日、地元仙台での公演に向けて猛練習しているそうです。

Q..稽古で、苦心している点、工夫なさっている点があれば、教えてください。

A..本来の作・演出である石川裕人さんの急な逝去(昨10月)で、演出を夫人の絵永けいさんをお願いしています。もともと、絵永さんは女優で、演出は初めて。多忙な中で無理をお願いしたこともあって毎回稽古を見て頂くわけには行かず、劇団員全員が演出家?! 意思統一が大変です。

Q..演目「つれづれ叛乱物語」の見どころは?

A..立ち退きを迫られた高齢者ホームの入居者が一芝居打って抵抗するという騒動を描いたコメディです。

Q..劇団員の方を、どなたか紹介してください。

A..劇団最高齢の**黒川春子**さんです。稽古に入ってから劇団員の急な都合で配役の入れ替えがあり一時はどうなることかと心配しましたが「雨降って地固まる」の例え通り新たな配役がはまり役となつて順調な稽古が続いています。

Q..見たい劇団は?

A..かんじゆく座を劇団員全員で観劇します。南アルプス桃源座さんも大会本拠地の新しいほやほや劇団ですから、ぜひ観劇したいです。

2度目の参加になる青森県の**劇団笑劇**さん、一昨年の舞台では会場が笑の渦に包まれましたね!

Q..演目「嫁姑今昔物語」の見どころは?

A..姑をいびる、嫁の生き生きとした姿でしょうか。

Q..劇団最年少、60歳の**川端弘子**さん、今回の役どころは

A..姑をいびる嫁の役ではなく、姑にいびられる古き良き時代(?) の嫁です。みなさんの心に届く演技をしたいです。

Q..見たい劇団は?

A..福井県の「ババース」! まさにシニア劇団。最高齢女優の演技が楽しみです。

北海道から参加する「**南の風**」さんは、週2回の稽古で意気込み充分だそうです。

Q..見どころは?

A..一言で言つて喜劇! 肩の凝らない芝居で



「南の風」



谷口繁美さん



黒川春子さん



劇団「まんざら」

劇団笑劇



小松愛子さん



かんじゆく座

MAロッキーズ



森口一彦さん



す。老人施設での物語ですが、懐かしい時代背景を楽しんでください。1950年代の若かった時の思ひ出話自慢話、出稼ぎの思ひ出や、リンゴやバナナのたたき売り、終戦当時のつらかった思ひ出など、当時の懐かしい思ひ出のセリフがいっぱいです。

Q: 団員の谷口繁美さん、今回の役どころは？

A: 私、銀二は若い時、香具師を生業としていました。施設の住人と、昔の仕事の話が出ると、懐かしさのあまりちらつとのつもりが乗せられて、リンゴやバナナのたたき売り、果てはストリップ劇場での呼び込みをも披露することになります。

Q: 見たい劇団は？

A: 大正浪漫一座。演題に興味がありました。

奈良県で3月の公演で過去最高320人のお客様に見ていただけたという「らくらく演劇塾」さん、まだまだ市民の皆さんの認知度は低いのですがシニア演劇大会のチラシ折込をして、シニアパワーを強調してゆきたい！と、意気込み十分です。

Q: どんな作品ですか？

A: 「水の手紙」群読のために「」は、作者、井上ひさしさんの水に対するメッセージが厚く伝わってくる作品です。「地球は青い青い水の玉。今にも水が滴り落ちてきそうな、大きな青い水の玉」2011年、私たちは水に大きな逆襲を受けましたよね。

Q: 劇団員のどなたか紹介してください。

A: 戸崎健一さん、79歳。演劇歴8年の多彩なジェントルマンです！今回の公演の中心の朗読者で、長老という設定でやっていただいています。よくとおる美しい声！過去の公演では劇中化の作詞作曲をしてもらいました。

いつも劇団員をまとめてくださっています。

Q: 見たい劇団は？

A: 「のべおか笑銀座」。前回も拝見し、その大がかりな取り組み、そして意欲的な作品に惹かれます。

それから「ババーズ」。最高齢のお婆ちゃん、今年も元気かな？!

お隣の県、京都の「アトリエ劇研」さんは、一昨年の星組に代わって、水組が参加します。

Q: 稽古は順調ですか？

A: コミュニケーションもよくチームもまとまり、互いに切磋琢磨しながらよい稽古が進められています。

Q: 在籍8年目の劇団員の阿井さくらさん、今回の役どころは？

A: 村の木賃宿の女主人です。テーマ性のある魅力的な作品ですので、全国の皆様に楽しんでいただけるよう、頑張りたいと思います！

Q: 見たい劇団は？

A: 南アルプス桃源座です。地元で作られた新しい劇団ということで、今回がデビュー作品。始めたばかりの新鮮なエネルギーがみなぎる舞台になるのでは？期待しています。

そんな皆さんの期待がかかる福井県の劇団「ババーズ」さん、なんといつても90歳の看板女優さんが注目されています。

Q: 今回はどんな作品なのでしょう。

A: 「三途の川の爺さん」という作品で、2004年に作ったものです。もう101回も上演していますからそれほど苦心はありませんが、今回はこれを少し修正しているので、その修正部分を稽古しています。

Q: 看板女優の松浦政子さんは、お元気ですか？

A: 最高齢でありながら、声も大きく、記憶力も抜群です。ときたまセリフを忘れることもありますがアドリブも大変うまいのでとても楽しいです。

Q: ババーズさんは、どこの劇団を見てみたいですか？

A: 我々は、役者がみんな年老いたものばかりで、体調が悪いものもいるため、時間的に無理のない「かぶつ」さん（八丈島）か、「川西町フレンドリープラザ」をみる予定です。

そして、みんなの期待が大きい、地元の「南アルプス桃源座」さんは？座長の小松正彦さんに伺いました。

Q: 稽古場はどんな雰囲気ですか？

A: なんせ、初めての人ばかりです。セリフを覚えるのも大変だし、立って動くのもうまくできない。何もかもが手探りの状態です……

Q: 旗揚げ公演にして、オリジナル作品ですね。

A: そうなんです。出演者全員がそれぞれの個性を発揮できるように、書いてもらっています。

Q: どの劇団の公演に興味がありますか？

A: まだ、ほかの劇団のことを考える余裕がないというのが正直なところですね。団員たちは、「私たちが千円も入場料金を貰っているのかしら」と言っています（苦笑）。

旗揚げ公演を控えたドキドキ……どの劇団さんも通った道だと思えます。本番は、リラックスして、堂々と舞台に立てるといいですね！きつとうまくいきます！



戸崎健一さん



「らくらく演劇塾」



ババーズ

南アルプス桃源座



アトリエ劇研シニア水組

♪南アルプスお土産情報

南アルプスってどんなところ？何が美味しいの？お土産も買いたいなりという方のために、観光協会さんから、この時期最高のお土産を教えてくださいました。
サクランボ……6月はなんといつてもコレ！高砂と佐藤錦があります。果物ですが重くないし、どなたにも喜んでいただけますよ。地方発送もOKです！
↓250g 1000円 / 500g 2000円
ジャム……地元の果物で作ったジャムが好評です。サクランボやスモモなど、8種類ほど揃っています。
ゼリー……果汁100パーセントのキュービックタイプのゼリーが最近人気です。



全国シニア演劇大会開催中は劇場の外で地元の果物などをテント販売しています。おみやげに、そしてホテルでの夜食にぜひお買い求めください。

❖ 川西町フレンドリープラザ附 属演劇学校シニア演劇コース

(山形県) 団員7名

私たちは、昨年度からスタートした川西町フレンドリープラザ（作家 井上ひさし氏の遅筆堂文庫と川西町立図書館および劇場の複合施設）の主催事業で演劇学校シニアコースの受講生で、この3月20日の修了式にて卒業した一期生です。7人のメンバーは、演劇初心者ばかりで、演劇学校への入校の動機も様々。平均年齢は59・4歳と、シニアとはいえ、まだまだ小僧っ子の域を出ていないと思います。

全国大会出場のきっかけは、昨年の受講中の8月にワークショップとして大会事務局の鯨エマさんをお招きしたことです。懇親会の席上で全国シニア大会の話伺い、初心者ばかりの集団（一度も舞台を踏んでいない）にもかかわらず、しかも公演用の台本もまだ出来上がっていない段階で多くのメンバーが「全国大会に出たい」と気炎を上げました。恐いもの知らずにもほどが



ありますが…。
「風渡る頃」はシニア世代向けの面白いお芝居です。自我自賛ですが（笑）。生まれて2度目の私たちの舞台を是非ご覧下さい。

❖ いわみのくに 石見国くにびき18座

(島根県) 団員15名

島根県石見国は島村抱月生誕の地。私たち演劇に関わることは身の引き締まる思い、いや身の縮む思い。でも高い目標を持つことで私たち66歳から85歳は元気に夢を見えています。

劇団名の由来は、高齢者大学校くにびき学園18期生で立ち上げたところから生まれたもの。在学中の学園祭で発表したミニ群読劇が喝采を浴び、地域の地芝居大会への誘いもあってそこへの参加が、私たちに夢を見つめるきっかけになったのです。あの激動の昭和を生きのびてきた者として、未来への語り部になろうと決心しました。だから私たちの演劇のテーマはいつも「いのちの重さ、平和の尊さ」。年一回の劇場公演と小中学校や地区公民館などへの出前公演を通して若者や子どもたちへこの思いを伝えていきます。



脚本・演出・役者全て自前。誰一人として今までに経験したことがないという純粋な素人集団。何も知らないから怖いもの知らず。何も分らないから身の程知らず。全国大会への出場など大それたこと。でも仲間と一緒に火花を散らしながらの練習は面白く楽しいです。

ゆいかの興味しんしんシニア訪問



こんにちは！大学3年生のいなばゆいかです。最後となる今回は、私が思う、シニア演劇の可能性について書きたいと思います。

「演劇を」やりたくてやっている」というのが、シニア演劇の魅力であり、強みだと思います。かんじゆく座の稽古で印象深かったのが、エマさんの厳しめな指導に「はいっ！」と素直に答え、真剣に舞台づくりに取り組む劇団員の皆さんの姿でした。「普段人から怒られることがないから、これも刺激的で良い」と言っているの、そのパワフルさ。感動しました。そんなことが言えるのは、この活動が好きで、やりたくてやっているからなのでしょう。そこが、すごいと思うのです。

大学生の場合はそうはいきません。演劇活動には「時間」も「お金」もたくさんかかります。旅行、恋愛、遊び、バイト、勉強など、やりたいことが山ほどある学生達にとって、演劇は「拘束が強すぎる」というマイナスイメージがあるようです。だから、メンバーの勧誘がものすごく大変。「お願いだから入ってくれー！」と説得されて劇団に入る人の中には、演劇の虜になる人もいれば、最後まで「やってあげて」る「やらされてる」という気持ちで取り組む人もいます。中には、怒られるとすぐ逃げ出す人も。メンバー全員が高いモチベーションを持って活動に臨むことが、非常に難しいのです。

だからこそ私は、シニア演劇に大きな魅力と可能性を感じるのです！「好きこそものの上手なれ」と言いますが、まさにそれです。稽古中、良い舞台を作るために一心に活動に取り組む皆さんの姿を見て本当にワクワクしました。シニア演劇が、衰退傾向にあると言われる演劇界を今後大きく盛り上げてくれるのではないかと心からそう期待しています！！では、これまでお付き合い頂き、本当にありがとうございます！シニア演劇をずっと応援しています！またいつか★

種類

年会費

特典

サポート 劇団	(個人) 一万円	●年4回の通信を郵送いたします(団体構成人数分を送らせていただきます)。 ●全国シニア演劇大会開催に当たり、事前会議、座長会議などへの参加が可能です。 ●全国大会に参加した場合、資金援助が優先的に受けられます。(支援額は大会によって異なります)。
サポート 会員	(個人) 五千円	●年4回の通信を郵送いたします(団体も個人も1誌)。 ●全国シニア演劇大会の交流会に優先的に参加できます。

編集後記

「演劇は、幕が開くまでが演劇。」という、某演出家のおっしゃった言葉が好きです。

この一言で、開幕までの忙しい時間も、イザコザも、すべて受け入れられる気がします。

一昨年の全国シニア演劇大会をご覧いただいた方から、南アルプス市の開催を勧められ、準備から約1年半ついに、2回目開幕しようとしています。南アルプス市の皆さまには、市制10周年のイベントに加えてくださいましたことを、感謝申し上げます。

舞台上立つ役者たちにとって、ホームグラウンドから飛び出して、家族や友達以外の方々に芝居を見て頂けるということは、ほんとうに楽しく、刺激的な時間になることでしょう。

シニア演劇が、自己満足で終わることなく、社会へ明るく清々しいエネルギーを発信できるように、スタッフ一同、精一杯頑張りたいと思います。ラストスパート！元気にいきましよう！
(鯨)